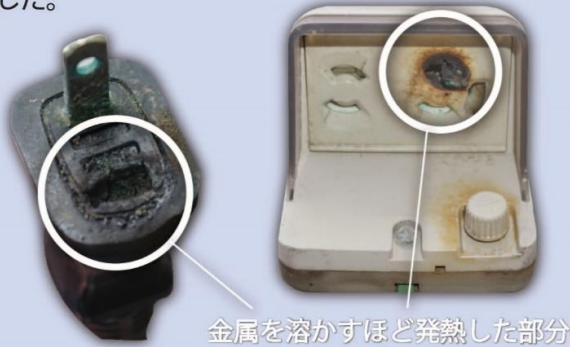




## 電気火災

### CASE 1 プラグの接触不良による発熱

■電気製品の調子が悪いな…と思っていたら、「コンセントの接触不良が原因」なんてことも。給湯器が作動しないため、屋外コンセントを見ると、プラグの接触不良による発熱で差し刃が焼け切れているのを発見。幸い大事には至りませんでした。



金属を溶かすほど発熱した部分

### CASE 2 低圧進相コンデンサからの出火

■昭和 50 年以前に製造された保安装置のないコンデンサから出火し、作業所が全焼。夏期や農繁期になると、これと同じような火災が全国的にも多く発生しています。現在お使いのコンデンサは何年製ですか？保安装置のあるものに早急に交換してください。



昭和 50 年以前のコンデンサ

絶縁劣化により発火。

素子が炭化したコンデンサ

### CASE 3 トラッキング火災

■ケース 1 と似ていますが、(この火災ではプラグとコンセントの接触不良による発熱の影響で樹脂が変質したことに加え) 差し込み付近に水分を含んだホコリなどが溜まり、本来流れるはずのない差し刃間に電気が流れ、急激に燃焼が進む現象「トラッキング」が発生。これは電気製品を使っていなくても発生する可能性のある恐ろしい現象です。ケース 1 同様、火災前に機器の電源が入ったり入らなかったり、接触不良の兆候が見られていました。

#### トラッキング防止のチェックリスト

プラグはしっかり差し込む
コンセント周りはこまめに掃除する
コンセントに水をかけない
調子の悪い電化製品は使い続けない



差し刃が溶けるほど発熱し  
勢いよく炎を噴き上げ燃焼します  
この間ブレーカーは落ちません

電化製品から「煙が出た」「焦げ臭いにおいがする」

などは火災の前ふれかも知れません。  
そのような現象が見られましたら、消防局予防課まで連絡ください